



か え で ゆ う び ん 9月号

2 0 2 1 年 9 月 1 日
社 会 福 祉 法 人 清 松 学 園
幼保連携型認定こども園 かえで保育園
園 長 引 地 美 津 代

緊急事態宣言が延長され、もううんざりするとともに、今後先が見えないこの状況にますます不安を感じます。幼児の子どもたちが社会に携わる事や子どもたちから出る様々な思いを計画することも先延ばしにしています。また、乳児はマスクで隠された表情を当たり前の人の顔として記憶してしまう事など、幼少期に一番必要な「人との距離」を「ソーシャルディスタンス」という言葉で離れてしまう子どもたちの生活に心が痛みます。

保護者の方々にも、忙しい朝に検温や、微熱や風邪の症状に敏感に気づいて仕事優先ではなく、家族の体調管理を優先することをお願いし実行して頂いています。あまりにも長丁場になり「もうちょっと無理・・・」と思う日もあると思いますが、今までの感染状況では、子どもはかかりにくいから大丈夫と言われていましたが、デルタ株は感染力が水ぼうそう並みの感染で、怖いのが子どもは無症状でも陽性になり、今では子どもまでも重篤な状況になってしまうといわれています。保育園での体調管理をどう対応していくか・・・その時々のご家庭の様子や在園児の様子を細かくチェックしながら「命」を優先して対応するしかない状況です。保護者の方々の様々な立場は十分理解していますが今は、心苦しいですが「休んでください」「健康管理してください」とお伝えするしかありません。学校の2学期が始まりました。「学びを止めない」ということですが、子どもたちの生活がどう進んでいくか危惧します。子どもたちには、できる限り普通の生活を過ごさせてあげたいと思っています。一堂に集まる行事は開催できませんが、子どもたちの成長をお伝えできるよう工夫していきます。園での子どもたちの生活を守るためには、各ご家庭での見守りとご家族の少しの体調の変化にも大事をとってほしいと願います。どうぞご理解いただきますようお願いいたします。

8月の園生活は「水と遊ぼう」で様々な企画を準備していましたが、例年にない大雨が続き、一番良い時期に思いっきり！！ができませんでした。もう少しの間、水や・泥んこで体いっぱい使って遊ぶ機会を作っていきたいと思います。昨年の夏にきれいな声で涼しさを感じさせてくれていた鈴虫がたくさんの卵を残してくれていました。自宅にて冬を超え、6月ごろから小さな虫を何の虫か・・・とお楽しみで育ててくれていました。こおろぎか？バッタか？鈴虫か？と観察は続きましたが、みるみる大きくなり、「鈴虫」として今年もきれいな鳴き声を響かせてくれています。

先日、かえで保育園前の道路に歩道と車道を区別する白線と、交差点前の減速を促す表示が道路に印字されました。園前の交差点での事故が開園当初よりなくなることはありません。安心して道路を歩けるよう接触事故を少しでも軽減する方法はないかと以前から西宮市にお願いしていました。希望のグリーンロードに変更することは叶いませんでしたが、一歩前進です。作業を子どもたちと見守りましたので、印象に残っているかと思います。子どもたちは日常の生活の中で様々なルールを習得していきます。大人が示し「速度おとせ」の印字にドライバーが気づき優しい運転になることを願います。



8月は雨の日が多く、身近なところで災害が起こってしまうのではないかと心配する日が幾日かありました。保護者の方々が幼少期を過ごした地域に災害等が起こり、心を痛み心配したりすることもあったかと思います。

園の近隣には山や大きな川はありませんが、8月の避難訓練では武庫川が氾濫したということを想定しての訓練をしました。遠くに思える川ですが、万が一氾濫すると災害に巻き込まれることがハザードマップで想定されています。今回の避難訓練では今夏の続いた長雨の記憶が子どもたちの記憶の中にもあったようで、晴天の日でしたが「避難訓練大雨洪水警報発令」の放送に機敏に行動できました。職員の誘導や内容をしっかりと聞き、幼児は慌てることなく2階へ避難。新入園児の子どもたちも担任以外の職員であっても泣く事なく手を引かれたり、0歳児はおんぶされたりし、避難する事の意味が職員の表情でも受け止められていました。子どもたちは訓練後、「怖かったね」「保育園大丈夫だった?」「もしも~だったら・・・」と感じたこと思ったことを次々と話してくれました。

「子どもの安全」を守ることを最善に訓練します。避難訓練計画を実行する前に適切な内容であるか、再度検討計画を行い、職員全員に周知し実施しています。また、避難訓練は実施後の見直しをすることも大切にし、現実起こった時の想定をして職員全体で取り組んでいます。訓練後には月ごとの担当職員がPOPで内容をお知らせしています。保護者の方も家庭で安全に過ごすために「家庭での防災対策について」もお子さまと様々な場面を想定して、危険が迫った時どうするかの話をしてみてください。日頃の備えが役に立つと思います。

主幹保育教諭 藤森 寿美

先日、SDGsについての研修を受ける機会がありました。研修といっても、ここ最近はパソコンに向かい研修を受ける形が浸透してきています。

『持続可能でよりよい世界を目指す国際目標』として掲げられているSDGsは耳にしたことがある方も多いと思いますが、その内容はまだまだこれから広まっていく段階だと思います。私自身も、SDGsが生まれた経緯などは今回の研修を通して学ぶことが出来ました。近年の異常気象による各地の映像を見ていると、ただごとではない気がしています。難しいものと捉えずに、自身の生活に重ねながら具体的に、そして無理なく続けていける方法を日常の中に取り入れていきたいと思います。

そして何よりも、これからの未来を生きていく子どもたちのために大人が頭を悩ませ動いていくのではなく、“自分たちの未来を自ら(一緒に)つくる”という感覚をもつことが大切だと感じました。

服を買う時にも、環境に配慮したものや長く使えるものを選ぶことや、今ある身の周りのものを大切に使うこと、ちょっとした意識で、未来が少しだけ良くなるのであれば、SDGsは日頃から身近にあるものなのかもしれないですね。子どもと一緒にSDGs、おうちでも気づかぬところに隠れているかもしれません。「こんなことしてみたよ」「こんなのはどう?」と、皆さんのアイデアもぜひ教えていただけると嬉しいです。

副主幹保育教諭 河本彩奈

～めばえぐみ～

ねらい：「いろいろな物や素材に触れてあそぶ」「風を感じる」

うた：「幸せなら手を叩こう」「どんぐりころころ」「むしのこえ」

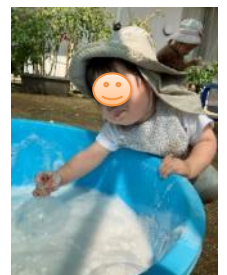
わらべうた：「チョチチョチアワワ」「いとまきのうた」

小さな粒のひまわりの種がようやく顔を出して、太陽に届く程高く輝くひまわりが咲きました。部屋に飾っているひまわりの絵と咲いた花を指差したり、優しくそっと触りながら咲いたことを一緒に喜んでいきます。8月はこれまでより園庭に出る時間を少し早め、熱中症対策を行い出来るだけ涼しい時間に外遊びをしました。園庭に出ると早速、蛇口から出る水に手を伸ばしたり、タライの水を両手で勢いよくすくって全身びしょ濡れになりながら暑い夏を過ごしました。また、暑い日には風の心地よさを感じながら、日陰のテラスで泡遊びやボディペイントをしておもいっきりを楽しんでいます。



“水遊びから泡あそび”

風の心地よさや砂の感触を感じながら過ごした春頃。8月は様々な感覚を感じることができるよう水、氷、泡遊びをしました。泡づくりが始まると窓からじっと様子を見ます。水とは違った感触を不思議に感じながらも、指先でつついたり手のひらで握りながら感触を確認していました。腕や脚まで伸ばしていました。透明の氷には「なに？これ…」と始めは不思議そうな表情でしたが、触ってみると冷たくてびっくり！つるつる滑る氷を掴もうと集中して追いかけたり、中に入っていた花や草を摘まもうとしていました。



“ボディペイント”

感触遊びとしてビニール袋に絵の具を入れて色が広がる様子をじっくり見ていた子ども達。絵の具の感触を楽しんでいる姿から、ボディペイントへ発展していきました。始めは指先で少しずつ付けていた絵の具も、一瞬でお腹まで絵の具だらけになっていました。手も脚も絵の具だらけで満面の笑みで保育者のいるところまで向かってきてくれる姿に「こんなにいっぱいついたよ」と言っているかのように子ども達からのわくわくとおもいっきりがたくさん伝わってきました。手についた絵の具を指さして「みてみて」と側にいた子に見せたり、模造紙に両手でおもいっきりに絵の具をつける様子を見て一緒に喜んだり子ども同士でもたくさん刺激を受けあっているようで、今をおもいっきり楽しんでいるように感じた瞬間でした。



“担任の思い”

泡遊びにボディペイントと様々な感触あそびをおもいっきり楽しめました。やりたいことやってみたくても出てきて、コップを自分で持って水分補給をしたり、エプロンや服の着脱を保育者と一緒にとしてみたりと生活面でもやってみたくてたくさん増えてきました。思うようにできた時は、もう1回と挑戦しようとしたりと子ども達の毎日の成長には驚くことばかりです。保護者の方へ園での様子を伝える時や家庭での様子を聞くことで共に成長を感じることができ嬉しいです。最近はお友達にも興味を持ち始めて、遊ぶ様子を見つめたり、関わろうとする姿も増えてきています。保育者と1対1でゆったり過ごす時間を大切にしながら、子ども同士が関わる様子も伝えていきたいと思っています。

～ふたばぐみ～

ねらい：「自分でできた喜びを感じる」「保育者や友達との会話を楽しむ」

うた：「とんぼのめがね」「まつぼっくり」 わらべうた：「ここはてっくび」「くまさんくまさん」

今年の夏も暑い日が続き、気温やそれぞれの体調に合わせて、休息・水分補給なども取りながら保育を進めてきました。水や泥、氷など様々なものに触れることで、いろんな感触を知り夏の遊びを楽しむことができました。また保育者との会話や友達とのやり取りを楽しむ姿もたくさん見られるようになってきました。保育者の仲立ちや、友達同士のふれあいを大切に友達との関係を深めてほしいと思います。

“パプリカはどんな味？”

5月に植えたパプリカは、子ども達が毎日水やりをしてくれたおかげで、ぐんぐんと成長中。数個育っている色変わりパプリカを1つ収穫しました。大きさは子どもたちのこぶし一つ分ほど。水やりをしている時から観察したり、優しく触ってみたりと興味津々でした。収穫したパプリカを見て「ピーマン？パプリカ？」と不思議そうに眺めていました。色変わりパプリカは何色の状態でも食べられますので、みんなで食べる事にしました。保育者も初めての体験で「どんな味かな、中身も紫色なのかな」と共に楽しみに切ってみると、紫色のパプリカの中身はなんと黄色でした。昼食を食べる時にみんなで一口食べると、少し苦そうな表情の子ども達。しかし一人も残すことなく完食しました。初めは白色の実でしたが、紫色に変わったパプリカ。緑色のパプリカも少しずつ黄色に変わってきました。パプリカの色はまだ変わっていくのか、実はもっと大きくなるのか、子ども達と野菜の成長していく様子を楽しみたいと思います。



“氷でお絵かき”

先月から始まった氷あそび。マスカットや葉っぱ入りの氷、風船で作った大きな丸い氷も大人気でした。今回は色付きの氷を作ってみました。アイスクリームのように棒の先に氷を作ったので、絵の具が苦手な子ども達も挑戦していました。少しずつ氷が溶け始めると、紙に描くだけでなく手や足など自分の身体に絵の具を付けて楽しむ子ども達の姿もありました。紙の上を転ばないようにゆっくり歩いた後、自分の足跡を指差し、「みてみて」と嬉しそうに教えてくれました。最後は氷が溶けて、紙の上で水が混ざり綺麗な色がたくさんできました。子ども達の勢いは止まらずもっと大きい模造紙にもお絵かきをして大満足の子も達。

元気いっぱいダイナミックな作品が完成しました。



“担任の思い”

子ども達自身で出来ることが増えてきました。その分「やりたい」気持ちと「やりたいのにできない」気持ちと葛藤する姿もあります。友だちが使っているおもちゃを使いたい、ズボンが思い通りに脱げないなどの思いを、言葉で伝えようとしてくれる子どもが増えてきたことなど子ども達の成長を日々感じています。子ども達の気持ちを大切に受け止めながら、一緒に喜びを感じたいと思います。

個人の活動も多く見られますが、友だちの名前を呼んだり一緒に積み木を積み上げるなど、友だちを意識することが増えてきたふたば組の子ども達です。遊びの中でも友だちの事を考えて遊ぼうとするこも増えてきて「じゅんばん」「どうぞ」と譲り合う姿も多くなってきました。これからも友だちを思いやる気持ちが育ってくれるように見守っていききたいと思います。

福井真裕子 立田瑛怜菜 松岡桃花

～つぼみぐみ～

ねらい：「友だちと一緒に居ることや遊ぶ事を楽しむ」

うた： とんぼのめがね、おばけなんてないさ、こぎつね

園庭での虫探しやダンゴムシ探しからセミ採りへと変わった夏。お部屋にいても「セミ鳴いてるね～」と外が気になったり、セミの載っている絵本を見て興味津々です。園庭へ出ると木の下に向かい「いるかなあ？」と目を凝らし必死に探している子ども達。見つけて捕まえた時には満面の笑みを浮かべています。初めは怖いと感じていた子どもも毎日の触れあいや観察する中で慣れてきて触れるようになりまた一つ成長を感じています。夏の遊びもボディペイントをして身体全身を使ってダイナミックに遊びました。

～水遊びたのしいな！～

普段の日常の中で水遊びや泥遊びをしています。本格的な水遊びが始まり、8月の晴れた日にはスプリンクラーの冷たい水しぶきやバケツに水を溜めて水の掛け合いを楽しんでいるつぼみ組さんです。

スプリンクラーには自ら近付いて顔にかかってもへっちゃら！

「ギャハハ！」と顔にかかるのがむしろ嬉しい、楽しい様子で水に触れる事を楽しんでいます。初めはかかるのが嫌だなあと少し苦手に思っていた



子ども友達や保育者と一緒に水の掛け合いや遊ぶ中で水が身体にかかる事にも慣れて次第に笑顔を見せる事が増えてきました。他にも、幼児さんがしているのを見て子ども達だけでじゃぶじゃぶ池の水汲みに水路を繋げて水の道を作り、水の流れを見て楽しんでいる姿も見え、日々の遊びの中でも子ども達の考えや行動には驚きや発見がいっぱいです。

～小さなお母さんとお父さん～

毎朝登園し、つぼみ組の部屋へ上がると子ども達はままごとコーナーへ一目散。せっせと小さいお母さんお父さん達のご飯支度が始まり。机にお皿とコップをセットしている子もいれば、コンロの前に立ち鍋に具材を入れて料理をしている子、弁当箱に具材を詰めて鞆に入れたりどこかへ出かける準備をしている子等ままごとコーナーでは慌ただしい1日が始まっています。子どもの声に耳を傾けていると、「じゅーすくださーい」「はーい、おまちくださーい」等どこかお店へ行った時の会話を覚えていたのか子ども同士でのやりとりが始まり、かと思うと横に目を向ければ人形を座らせ「おいしい？」とご飯をあげている小さなお母さんがいたり。子ども達は身近な人や経験から見た事やしてもらった事を真似して遊ぶ姿が見られるようになってきました。そうして遊んでいるといつの間にか机の周りには人が沢山。まるで大家族かのように食卓を囲みお話ししながらご飯を食べている姿にはいつも微笑ましく感じます。友達と一緒に遊ぶ事が楽しく心地よくなってきているからこそ、お友達へどう伝えれば気持ちが届くのかをお手伝いしながら遊びを見守っています。



“担任の思い”

子ども達の言葉が増え友達や保育者と話す事が楽しくなってきた分、私達の発する言葉にも責任が出てきました。子ども達は日々の中で耳にしたことをそのまま覚えて使うようになるので、生活の中でもどうすれば伝わり子ども自身で理解したり出来るようになるか考えて発言する事を心がけています。遊びの中でも「貸して」「いいよ」「後でね」という言葉が聞こえるようになってきて、こんなに喋れるようになった！？と日々成長していく早さに驚いています。これからも保護者の皆様と一緒に子ども達の成長を共に喜び合っていけたらと思っています。またお家での様子も聞かせて下さいね！

今井 奈沙 坪金 玲奈 小城 美紗

ねらい：「自分の思いを伝え、相手の思いを知ろうとする」

うた：「かもつれっしゃ」「手のひらを太陽に」

みんなで植えたトウモロコシが次々と実をつけ、そのほかにもトマト、ピーマン、オクラなど夏の野菜がたくさんでき、子どもたちは成長を喜んでいました。そんな園庭にもトンボが飛んでくるようになりほんの少しですが季節がすすんでいるように感じます。鉄棒、下駄、ボールあそびなど元気に体を動かして「こんなことができたよ」とうれしそうに教えてくれる子どもたちです。

“いただきます！トウモロコシ！”



7月下旬、いぶき組で育てたトウモロコシが大きくなり、ヒゲも茶色になってきたので収穫することにしました。大きさや重さ、においなど、みんなでひとつひとつ確認していきました。「おいしい」「かるい」「においは…なんにもしない」「ひげがいっぱい」



子どもたちは思い思いに感じたことを教えてくれました。皮をむき、ひげをとるとおいしそうに実った黄色いトウモロコシが見えました。早速、お湯でぐつぐつとゆで、出来上がったトウモロコシのにおいをかいでみるととても甘いにおいがして、子どもたちも「う～んいい匂い」と絶賛でした。ほんのちょっぴりの量でしたがみんなでおいしくいただくことができました。「おいしい」「おかわりある？」「つぎのトウモロコシいつたべる？」とトウモロコシに夢中の子どもたち。種植えから成長を見守り自然の恵みを思いきり味わうことができました。



“みずあそび”

やっとみずあそびができる！と思ったその日はまさかの雨模様…空を見ていた子どもたちは「水着きたかったな」と残念そうな声。でもその週の金曜日にやっとみずあそびを行うことができました。当日は快晴。朝、登園するとうれしそうに水着を見せ合う子どもたち。自分で着替えをがんばって、一斉に園庭へ走って向かっていきました。みずあそびでは、築山の斜面にブルーシートを敷き水を流してスライダーをしたり、スプリングラーから飛び出してくる水からにげたり、近寄っていったり。石鹸をゴシゴシして泡をたくさんつくり、ソフトクリームやさんをするなど子どもたちはそれぞれに自分のみずあそびを楽しむことができました。あそび終えた子どもたちからは「たのしかった」とうれしそうな声をたくさん聞くことができました。



“担任の思い”

友だちとの関わりの中で、自分の思いをしっかりと伝えることができるようになってきました。あそびの中で生活の中で「こうしたい」「これはちょっといやだな」というように自分の思いを考えながら話しています。でも、ときには友だちと気持ちのズレができ、「なんで？」という気持ちになる場面もあります。そんなとき子どもたちは自分たちで気持ちを伝え合い、納得できるところまで話し合おうとしています。「じゃあ、こうしよっか」「さっきはごめんね」「いいよ」そんな言葉が聞こえてきたらもうだいじょうぶ。子どもたちはにっこり笑顔になっています。 星加 由美子・小寺 涼香・峰 夏音

～ひかりぐみ～

ねらい：「ルールのある遊びをたのしむ」「自分の思いを伝える、友だちの思いを知る」

うた：「手のひらを太陽に」「うたえバンバン」

8月は暑い日が続きましたが、子どもたちはセミの声が聞こえてくると一目散に園庭に飛び出して行きます。汗をかきながら、高いところに一生懸命綱を伸ばす様子を見ると、「夏がやってきた！」と感じます。まだまだ暑い日が続きますが、熱中症に気をつけながらも、水遊びや泥遊びなどダイナミックに楽しむことができます。



“どんないろになるのか実験だ！”

保育室に貼っていた色水の写真を見て、「きれい！やってみたい！」と話していた子ども達。

ゼリーカップの底に水性のペンでぐるぐると色を塗って、水を入れると、透き通ったきれいな色水が出来上がります。

色んな色を試してみたり、たまごのパックや、ワイングラスの形をした容器にいれてみたりして楽しんでいました。

ひと通り色を使い終わると、「これとこれ、混ぜたらどんな色になるのかな？」とまるで実験のように、色を混ぜ合わせていました。

同じような色でも、よく見ると少し違って見えたり、

太陽の光にあてるとキラキラと輝いて、とても綺麗でした。

机の上にはたくさん色水ができてあがって満足気な子ども達。

またどんな色ができるのか楽しみです。

“だいちさんといっしょ”

夕方になり、少し涼しくなってくると、だいち組の子どもたちは、ドッジボールやサッカーなど身体を動かして楽しんでいます。その様子をじっと見つめては、園庭の端っこに行って、同じように真似をして遊んでいるひかり組の子ども達。ある日、だいち組がドッジボールをしていたので、誘い掛けると少し恥ずかしそうに遊びに入ってきました。ルールをだいち組から教えてもらって、チームに分かれて一緒にしていると、最初は少し緊張した様子でしたが、だいち組からパスをもらって勢いよく投げることができ、次第に笑顔が増えてきました。

その日を境に、園庭に出るとボールをパスしあう姿が増え、「なにしてるの？」と声を掛けると、「ドッジボールの練習。まただいちさんとできるときに投げれるようにしてるねん。」と嬉しそうに教えてくれました。だいち組と一緒に遊べたことが、余程楽しかったようで、「ドッジボールする人～？」と声がかかると、自分から参加していくようになりました。これからいろいろな人と関わり、遊ぶことを楽しんでほしいです。

“担任の思い”

いぶき組の頃は恥ずかしくてなかなか参加できずにいたことも、誘い掛けると一緒にしようとして、「〇〇したいな。」と自分から思いを伝えてくれるようになってきました。自分の思いをまわりの人に伝え、いろいろなことに積極的に参加していくことで、実際に経験することができ、活動する幅が広がってきたように感じます。様々なことを経験し、興味を持ったこと、おもしろかったことをこれからどんどん追及して楽しんでほしいです。

林 奈津美

～だいちぐみ～

ねらい：「友達と力を合わせることを経験する」「仲間の大切さを感じる」

うた：「手のひらを太陽に」「まあいいのち」

8月は色水を作って混色を楽しんだり、園庭で水着に着替えて水あそびを楽しんだり、暑い夏ならではの遊びを楽しみました。お盆の時期にはお休みの子もたくさんいたため久しぶりに友達や保育者と顔を合わせると「ひさしぶりやなあ」「なにしてたん」とやり取りを楽しんでいるようでした。お休みの間にしたことをたくさん教えてくれただいちさん、園生活のリズムを少しずつ取り戻しながら暑さに負けず元気に過ごしていきたいです。



“かわいいなあ”

めばえ組やふたば組のお友達が園庭に出てくると、「かわいいなあ」「いっしょにあそびたいな」と言って、すぐに駆け寄っていきだいちさん。はじめは照れくさそうに、なかなか一緒に遊ぼうとしなかった子達も友達に誘われたり、少しずつ関わっていくうちに気づけば年下の子に興味を持ち、自然と寄り添う姿が増えてきました。夕方になると、めばえ組やふたば組の窓からお部屋をのぞき込み、「〇〇ちゃんいたよ」「わらってる～」と微笑ましい会話が聞こえてきます。ー

一緒に遊んでいる時には、顔をのぞき込んで相手の表情をよく見て教えてくれます。泣いている子がいると状況を教えてくれたり、「せんせいがいいんとちがうかな」とどんな気持ちか考えようとしたりと、お兄さんお姉さんとして誇らしげな表情をしています。雨の日には幼児の部屋に乳児さんが遊びに来ることもあり、どんな時でも優しく声を掛けてあげるだいちさんの姿をととても嬉しく思います。年齢関係なく様々な人との関わりの中で、たくさんの人と関わることを楽しんでほしいなあと思います。

“エルマーの冒険”

子ども達がいま、夢中になっている「エルマーのぼうけん」。勇敢で心優しい男の子の冒険の物語で、お昼の読み聞かせの時間を子どもたちは楽しみにしています。この物語は「エルマーのぼうけん」「エルマーとりゅう」「エルマーと16ぴきのりゅう」の3つのシリーズがあり、毎日少しずつ読み進め、ついに最後のシリーズに入りました。エルマーの話が大好きなだいち組さんは物語が進むにつれて”つぎはどうなるの!?”とわくわくドキドキな表情を見せてくれます。1日1章ずつ読み進めているのですが、ひとつの章ごとに印象的なシーンがいくつかあるため、読み終えたあとにはクイズを出しています。「ここまで聞いてないだ



ろうな、覚えていないだろうな」と思うくらいの場面をクイズにしても見事に全問正解する子ども達。本当によく聞いているんだなあ子ども達の聞く力に感心する毎日です。

また別の日には、エルマーとりゅうに会いたいからと笛を作る子の姿がありました。完成した笛を持ってテラスに出ると「このおときこえるかな」と何度も笛を吹いていました。それぞれにエルマーの世界を楽しんでいるだいちさん。いつかエルマーとりゅうに会えますようにと、みんなで願っています。

“担任の思い”

お盆の間は登園している子も少なかったため、いつも「エルマーのぼうけん」を読んでいる時間は別のお話を楽しんでいました。「はやくつづきよみたいな」と言いながらも「だいちがみんなきてからにしようよ」と全員そろってから一緒に楽しみたい気持ちを伝えてくれました。だいち組になって5か月、少しずつ仲間としての意識が芽生えてきた子ども達。一人ひとりが大切な仲間だということを感じながら過ごしていきたいと思います。

尾崎美緒

～はま・かぜグループ～

～とってあげようか？～

夏も本番で、朝から園庭にはたくさんのセミがやってきています。ミンミンミン…と大合唱している中に幼児さんたちは虫網を持って走り出します。木の下で上を見上げている A 君がいました。じーっと高い気に止まっているセミを見て狙いを定めています。「いまだ！」と言わんばかりに虫網を木の幹に沿わせますが…おいしい、あと一步届かず、逃げられてしまいました。「あー逃げられちゃった…」と残念そうです。

そこにやってきた B くんが「僕やったら上の方まで届くからとってあげようか？」と A くんに言いました。すると A くんは自分で取ったかった気持ちと確実に取ってほしい気持ちの葛藤があったのか、少し間をおいてから無言で虫網を手渡しました。B くんは真剣な表情。狙いを定めて「えいっ」と網を傾けて、セミをゲットしました。するとすぐさま A くんを取ったばかりのセミを渡してあげました。「ありがとう」と A くんは無事にセミをゲット出来て満足げな表情。B くんも嬉しそうな A くんをみて少し照れくさそうな様子でした。



～オリンピック～

幼児のお部屋では、コマ回しのブームが再来しています。子どもたちは、東京オリンピックの影響を受けたようで、「コマ回しのオリンピックだ！」と言って、誰が一番長く回るのか競争が始まります。子どもたちの間で、「どうやって始める？」「“いっせーのーで”でコマを回したらいいんじゃない？」「それいいね！そうしよう！」とみんなで話し合ってルールを決めています。そして、“1 位になったら金メダル”というみんな同じ目標に向かって、作戦を考えながら、一人ひとり集中してコマの紐を巻き始めます。“いっせーのーで”の掛け声で始まったコマ回しオリンピック。年下年上関係なく同じルールで競争を行い、年下の子どもは年上に勝てるように、年上の子どもは年下に負けないように切磋琢磨する姿は、本当のアスリートに負けないぐらいキラキラ輝いて見えました。



“担任の思い”

今月はセミ取りや鮮やかな色の色水作り、氷遊びやダイナミックな水遊びなどこの季節ならではの遊びがたくさんできました。またお盆は子どもの人数が少ない事が多く、いつも遊んでいる友達とは違う友達と遊ぶ機会があり、その中で道具の使い方や新しい遊びを年長が遊んでいる様子を見て真似する姿が多く見られました。一緒に遊んだり関わったりする上で思いがぶつかり合うこともありますが、年上年下関係なく相手を思いやる心が育ってほしいと思っています。今月も、暑い日には水遊びや氷遊びをしたり、だんだん移り変わっていくささやかな自然の変化を楽しめるよう保育を進めていきます。

～職員からのメッセージ～

コロナ渦になり、親戚や友達と気軽に会う機会が少なくなり『会う』ことの大切さを感じる日々です。近場に住んでいる祖母ともお互いのことを考えて、今は直接会うことを控えています。なかなか会うことができず、寂しさを和らげ私達を身近に感じることができるようにと1年程前からテレビ電話を始めました。画面越しに目が合うと「あら、元気？」と笑顔で手を振ってくれる祖母。今日の天気、あのテレビ面白かったねと何気ない会話ですが、相手の表情を見ながら話ができるテレビ電話は、毎週恒例になっています。

最近は、友だちの子どもの成長をテレビ電話を通して見るのも楽しみの1つです。まだ直接会ったことはありませんが、いつの日か直接会えた時の喜びを想像しながら、そう遠くないことを願いつつ楽しみにしています。普段のメールや電話もいいですが、直接相手の“今”の表情を感じることができるテレビ電話もおすすめです。

日笠 加菜

～お父さんからのメッセージ～

私は保育園の先生として10年以上働いています。子どもたちにとってよりよい環境とは何か？よりよい言葉かけの仕方や援助の仕方はどんなものかを、日々勉強し、実践してきました。その知識と経験をわが子にも！！…と思い生活していますが、毎日の仕事、家事や育児に追われてなかなか実践できていないのが現状です。休みの日もついついゆっくり過ごしてしまうこともあります。そんな日は親としても保育のプロとしても「ダメな親だ（保育士だ）」と罪悪感に苛まれてしまいます。

ただ、そんな親でも子どもたちは好きでいてくれます。そして親が教えなくても園の先生や友だちから見たり聞いたりしたことを「〇〇って知ってる？えー知らんの？」と誇らしそうに教えてくれたり、そこから生まれてきた疑問をお兄ちゃんと図鑑で調べたり「こうなんじゃないか？」と考察したりすることを楽しんでます。また、園の友だちやその保護者に公園で会って「一緒に遊ぼう♪」と誘ってくれる方に良く出会います。そんな姿を見ていると“いい環境ですくすく育ってくれているな”という嬉しい気持ちと共に自分の肩の荷がスッと降りたような気持ちになります。

子どもたちは親の背中を見て育つとは昔からよく言われたものです。しかし核家族化が進む昨今、子どもは友だちやその親、近所の人など地域で見守る時代だとも言われるようになりました。そして今、かえって保育園という1つのコミュニティがあることで、子どもたちは友だちや先生など周りの人から刺激を受けて様々なことに興味を持ち、逞しく育ってくれていると感謝しています。もちろん「こんな大人になってほしい」という親の願いや思いは大切だと思いますが、そのことに気を取られて今という時間を子どもと楽しめなかったり、自己嫌悪になってしまったりするのはもったいないと感じるようになりました。これからはもっと地域や周りの人と協力しながら、親だからと張り切り過ぎず、気を抜き過ぎず、子育てを楽しめるよう心にゆとりをもって生活していきたいと思っています。

保護者の方からのお話コーナー

だいち組からの入園で、カチカチに固まっていた娘ですが、最近のかえで保育園の話をよくするようになりました。「〇〇くんと〇〇くんみたいに字の教室に行きたい!」「〇〇先生も〇〇先生も、母ちゃんみたいな帽子かぶってるで～」などなど…やりたい事もいっぱいあるようで、鉄棒の連続逆上がり、竹馬など、毎日汗だくで遊んでいるようでうれしいです!

だいち組 さちこさん

ある日、息子急に踊り始めました。いつも決まって同じ振り付け。何踊りか分からないままでしたが、先日園から頂いたDVDを見て判明!上のクラスの子の踊りをできる部分だけ真似ていました。

一曲全部の完成形を見るのが今から楽しみです。

ふたば組 さなえさん

園での様子はあまり話をしない娘ですが、お迎えに行くと、お友達と遊んでいる様子や帰る時にみんなが「バイバイ」と言ってくるところを見ると、お友達と仲良く過ごしているんだなぁと感じています。残りわずかな園生活をまだまだ制限はあるけれど思いっきり楽しんでほしいと思います。

だいち組 ゆきさん

早いもので6月で4歳になりました。お誕生日当日、園庭側の門へお迎えに行くと、バースデーソングが流れました。

年上の子ども、年下の子ども遊んでいる手を止めて、2階にいた子ども次々と集まり、大合唱で祝ってくれました。

どんどん大きくなっていく歌声の中で、嬉しそうな我が子の横顔が見え、かえで保育園の皆に大切にされていることを改めて実感しました。

いぶき組 かずよさん

4月に妹が入園し、人見知りが強くいつも泣いていたのに、最近はお機嫌で登園することもある。兄も、一人の時は離れたくなくて泣く事もありましたが、今となってはすっかりお兄ちゃん。体操が大好きで、木曜になると体操服を着て誰よりも張り切って行ってくれます。

家では最近ダブルワークの父が平日夜、休みの日もほとんどないので、「とっとちゃん、お仕事行って寂しいな～」と言っているようです。たまの休日はいっぱい甘やかしてます!

めばえ・つぼみ組 やすひろさん

☆お台所より☆

残暑が厳しい毎日が続いていますね。

お盆期間でお休みしていた子どもたちも元気に登園しています。お休み中の出来事を楽しそうに、一生懸命お話してくれて、その姿にほほえましく感じている日々です。

最近は保育園で飼っている虫のエサをお台所までもらいに来る子どもが多くいます。

コロナ禍でクッキング等ができなく、子どもたちとの関わりが減って残念ですが、このように子どもたちと接する時間をもてとても嬉しく思います。

さて、これからは実りの秋。さまざまな作物が収穫の時期を迎えます。

あつい夏のケアと共に、旬の食材を豊富に使ったおいしいごはんを提供していきます。

～こんなことがあったよ～

5月のかえでゆうびんでお伝えしている通り、今年の5月から生の果物の提供を控えています。コロナ禍で生の果物を提供することは、加熱ができないため危険を及ぼす可能性があるためです。例年通りにはいきませんが、子どもたちに喜んでほしく、おやつに何度か果物やフルーツヨーグルトを取り入れています。今年の夏は理事さんが栽培されたものや、園児のおじいちゃんが育てたすいかにも出会い、小玉すいかなど、色々な種類のすいかを食べることができました。子どもたちは大きなすいかにくぎ付け！「おっきいね！」「おもそ～」と言いながら嬉しそうに眺めていましたよ。すいかの果肉はほとんどが水分ですが、エネルギーとなる糖分を含んでいます。熱中症の予防には水分が大切ですので、甘くておいしいすいかを食べて、残りの夏も子どもたちと共に乗り切っていきたいと思います。



園庭で育てていたとうもろこしが大きく成長しました。

いぶき組の子どもたちが収穫をし、お昼ごはんに少しの量ですがみんなで食べました。とうもろこしのひげを取るのは一苦労。

みんなの一生懸命な姿を見ることができました。

お昼ごはんに、とうもろこしを出すこともありますが、自分たちで育てた、自分たちの手で収穫した、という“自分たちで”何かをした野菜と、八百屋さんで購入した野菜とでは、食べるまでの楽しみや、喜びが違ってくるように感じます。乳児クラスの子も園庭で育てたオクラやトマト、ピーマンを収穫しています。これからもたくさんの野菜等に触れる機会から、おいしく調理し、野菜のおいしさに出会ってほしいです。

～レシピ紹介～

9月の献立では冬瓜を使った「とうがんスープ」を出します。保育園では、食べやすいように、鶏ひき肉を入れるのがポイントです。



〈材料〉

とうがん	300g
鶏ひき肉	200g
干ししいたけ	3個
生姜	1片
醤油、酒	小さじ2
塩	少々

〈作り方〉

- ①冬瓜は種を取り、皮を剥いて食べやすい大きさに切る。
- ②干ししいたけは千切り、生姜はすりおろしておく。
- ③鶏ひき肉をフライパンで炒め、冬瓜を入れた出汁の中に入れる。
- ④冬瓜に火が通ったら調味料で味をつけひと煮立ちさせる。
- ⑤器に盛りつけたらできあがり。

栄養士 廣田 恵 坂口 未奈美



【ギャラリーの紹介】

9月1日より9月30日まで三井住友銀行のギャラリーで全園児の作品が掲示されます。
外からも見られますので是非ご覧ください

【記念事業】

かえで保育園も開園11年目を迎えます。
在園の保護者の方々には記念誌の中にコメントを掲載したいと企画しています。詳しくは後日お知らせいたしますのでご協力ください

【実習受け入れ】

9月13から3日間、常盤短期大学の学生が観察実習に入ります。(PCR検査を行っての実習となります。)

【家庭状況調査表】

9月1日に2022年度の家庭状況調査表を配布いたします。来年度の継続手続きの書類ですのでよく読んで、ご記入ください。

こんなことしたよ♪

だいち・ひかり組といぶき・つぼみ組に分かれて水遊びを行いました。築山にブルーシートを敷き水を流して築山スライダーをしたり、マスカットの屋根のパイプから水を流して滝行をしたりして、ダイナミックな水遊びを楽しめました。
泡のコーナーでは全身に泡を付けて「あわあわおばけだぞ～」とおばけになりきっている子もいました。

お兄さんお姉さんが水遊びする中、タライの水を両手で勢いよくバシャバシャしたり、ふわふわした泡をぎゅっと握ってみたり、氷の冷たさに驚いたり様々な感触で夏を楽しみました。



★お願い★

- ・緊急事態宣言が継続発令されています。
何度も保護者の方々に依頼していますが、

園児だけでなく、ご家族の皆様の発熱はもちろんのこと鼻水・咳やいつもと違う場合は必ず受診して病院の指示を受けてください。また、少しでも風邪の症状がある場合は病院受診がないと保育を受けられません。
体調不良で急遽、コロナに関するPCR・抗原検査などを受ける場合は必ず検査の前にお迎えにお越しください。

- ・登園後の体調の変化で連絡する場合があります。保護者の方の仕事がお休みの場合は家庭保育をまた休暇・自宅での仕事の場合は必ずお知らせください。

- ・降園時の申し送りは、密を避けるため緊急事態宣言が解除となるまで短時間で行います。ご了承ください。

- ・先にお配りしました署名は、より良い子育てと保育施設の向上に向けての署名です。ご協力ください。

9月の予定

感染症の状況で変更・中止する場合があります

- *24日(金) 誕生会
- *28日(火) クラルテ人形劇
- *2・9・16・30(木) 体操
- *絵画 未定
- *月例健診 未定

10月の予定

10月2日(土)

- *だいちぐみ だいぼうけんの日

(めばえ〜ひかりぐみは家庭保育に協力をお願いします)